



2019年7月24日

各位

会社名 株式会社FHTホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 楊 暁軍  
 (コード: 3777、JASDAQ)  
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸  
 (TEL. 03-6261-0081)

## 連結子会社における太陽光発電所の譲渡に関するお知らせ

当社の連結子会社であるエリアエナジー株式会社（以下、「エリアエナジー」といいます。）は、太陽光発電所を株式会社グローバルエナジー（以下、「グローバルエナジー」といいます。）へ譲渡することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 譲渡の経緯

エリアエナジーは、再生可能エネルギー特別措置法による固定価格買取制度に基づき経済産業省の太陽光発電の設備認定を取得し、発電所の開発及びその代行、第三者への売却、売電事業等を行っております。

このような状況の中、2019年4月9日付「連結子会社における太陽光発電所の譲渡に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、エリアエナジーは5箇所の太陽光発電所を株式会社コマネチへ2019年6月28日予定で譲渡する契約を締結いたしました。2019年6月28日付「(開示事項の経過) 連結子会社における太陽光発電所の譲渡に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、株式会社コマネチにおいて5箇所の太陽光発電所の代金決済が不可能であることを確認したため、当社において契約の履行は不可能であると判断し、譲渡契約を解除することとなりました。

その後、エリアエナジーにおいて太陽光発電所の譲渡案件に関する営業活動を行ってまいりましたが、譲渡価額がその他の交渉先よりグローバルエナジーより提示された譲渡価額が高額であり、譲渡条件等について合意したため、本日エリアエナジーは、①広野発電所、②児湯発電所の合計2箇所の太陽光発電所を譲渡することを決定いたしました。

#### 2. 譲渡する発電所の概要

譲渡の対象となる発電所の概要は次のとおりであります。なお、合計2箇所の太陽光発電所の譲渡価格は税別1,759,500千円であり、エリアエナジーにおける合計2箇所の太陽光発電所の棚卸資産額は、1,502,854千円であります。

発電所名	所在地	発電出力
① 広野発電所	福島県双葉郡	1990.0kW
② 児湯発電所	宮崎県児湯郡	936.0kW

譲渡内容は、各太陽光発電所の権利（経済産業省設備認定IDと電力会社との受給契約に関する権利義務）、太陽光発電設備、土地の権利であります。

### 3. 日程

2019年7月25日	太陽光発電所譲渡に関する契約締結（予定）
2019年8月23日	代金決済・権利等引渡（予定）

### 4. 譲渡先の概要

(1) 名 称	株式会社グローバルエナジー	
(2) 所 在 地	東京都港区東新橋二丁目1番6号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 姜 敏	
(4) 主 な 事 業 内 容	1. 太陽光発電事業 2. 大規模太陽光発電システム及び省エネルギー装置・機器の保有、販売、設置、施行及び保守 3. 電力、エネルギー、熱源等の供給及び売買 4. ソーラー電池、風力発電装置、発電機、燃料電池等の販売、リース、施行及び輸出入	
(5) 資 本 金	100万円	
(6) 設 立 年 月 日	2019年6月20日	
(7) 大株主及び持分比率	姜敏 100%	
(8) 当事会社間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	代表取締役 姜敏は、当社代表取締役社長 楊曉軍の妻であります。当社との間には、記載すべき人的関係はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への当該状況	該当事項はありません。

※ 株式会社グローバルエナジーの設立日は2019年6月20日であるため、直近の純資産、総資産は記載していません。

### 5. その他

譲渡先の代表取締役 姜敏氏は、当社代表取締役社長 楊曉軍の妻であり、2019年7月16日付「子会社等の異動を伴う株式の取得に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社は姜敏氏に対して、未払となっている上海蓉勤健康管理有限公司（本社：中国上海市、董事長：楊曉勤）の株式譲渡価額を支払う予定であり、株式譲渡の代金決済については発電所の譲渡代金債権と株式譲渡代金を相殺する見込みでございます。

なお、譲渡先の代表取締役 姜敏氏は、当社代表取締役社長 楊曉軍の妻であることから、楊曉軍は本決議に参加していません。また、本件2箇所の太陽光発電所の譲渡価額につきましては、株式会社コマネチとの太陽光発電所譲渡契約と同額であり、当社監査役全員から、譲渡先に特に有利な金額による譲渡ではなく適法である旨の意見を得ております。

### 6. 今後の見通し

本件の譲渡による業績につきましては、2019年12月期の第3四半期に、譲渡額と棚卸資産額の差額を売上利益もしくは営業外収益として計上する予定であります。また、本件の譲渡が当社グループ連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、確定次第お知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2019年2月12日公表) 及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (2019年12月期)	2,237	91	86	64
前期連結実績 (2018年12月期)	1,879	10	△29	△52